

## 寄贈図書リスト

- ① 物理化学, この1年 2022, パリティ編集委員会  
編, A5判, 204ページ, 3,500円+税, 丸善出版



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

## 研究会・集案案内

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター／  
国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局  
第13回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市に跨ってある32mパラボラアンテナ2基は、衛星通信アンテナから電波望遠鏡へのアップグレードがなされ、日本・東アジアVLBIの主要施設として、国際的に優れた天文学研究の成果を挙げています。子どもたちを含め、多くの地域のみなさんに、宇宙の科学に親しんでいただきたいと考え、今年度も公開天文台を開催することとなりました。

日時：2022年4月24日(日) 11～15時（雨天決行）

場所：茨城県高萩市石滝627-1

（さくら宇宙公園内）

茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター  
国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局

主催：茨城大学

共催：国立天文台

後援：高萩市教育委員会（いきいき萩っ子育成事業）、  
高萩市観光協会、日立市教育委員会、日立市観光物産協会

内容：パラボラアンテナ施設見学（11:00-15:00）、

4次元シアター（11:00-12:30）、

講演「なぜ茨城観測局はできたのか、KDDI茨城通信所からの物語」（小林秀行〔国立天文台水沢 VLBI 観測所特任教授〕）（13:30-15:00）

受付：施設見学は開催時間中随時受付。講演会は先着100名13:00より受付。

参加料：無料

アクセス：

[1] 鉄道：JR常磐線高萩駅下車

(1) 会場まで徒歩 約30分

(2) バス利用：高萩駅発いぶき台団地行、明秀学園高萩キャンパス前（約8分）下車、徒歩約10分

(3) MyRideのるる（オンデマンドバス）利用：さくら宇宙公園下車すぐ

[2] 乗用車：常磐自動車道 高萩インターもしくは日立北インターより

高萩市街方面約15分9km、明秀学園高萩キャンパス前を山側住宅街に曲がり600m先

駐車場：無料 普通車約300台駐車可

注意：アンテナ見学は動きやすい服装、靴で参加ください。

問い合わせ：茨城大学理学部附属宇宙科学教育研究センター

〒318-0022 茨城県高萩市石滝627-1

Tel: 0293-24-9516

Fax: 0293-24-9517

メールアドレス： [infoast@ml.ibaraki.ac.jp](mailto:infoast@ml.ibaraki.ac.jp)

URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

## 会務案内

公益社団法人日本天文学会

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)  
事業計画書と予算書

2022年1月10日に開催された代議員総会において2022年度の事業計画書と予算書が承認されました。

事業計画書と予算書は電子版を天文学会ホームページ (<http://www.asj.or.jp>) で公開しています。ホームページ上部の「日本天文学会について」の情報公開をご覧ください。

## 日本天文学会 2022 年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりです。欧文研究報告・天文月報・年会予稿集・ジュニアセッション予稿集の刊行、年会の開催、各種委員会活動、全国同時七夕講演会、各賞の授与、助成金、後援事業に関する事業を行う予定です。さらに2020年度から引き続き「シリーズ現代の天文学」英語版および日本語改訂版の刊行を予定しています。また、2022年度中に次期会長選挙を行います。当初予定していた名簿の発行は代議員総会の決定を受け中止いたします。

## 日本天文学会 2022 年度予算書の概要

公益社団法人として、公益目的事業の適切な実施とともに、保有上限額がある遊休財産額の適正化をも考慮して予算書を作成しました。全体としては事業収益102,648千円・事業費用111,233千円と、費用が収益を上回る予定ですが、予算上最も大きな欧文報告事業では引き続き収益が費用を上回る見込みです。年会費と年会参加費および講演登録費の改定に伴い収益が前年度に対し変化する事業がありますが、全体としてはほぼ例年どおりの経常収益です。経常費用については、電子的業務の外注費や年会のハイブリッド化、新型コロナウイルス感染症対策といった長期的運用費用に加えて、2022年度のみ経費として国際基礎科学年経費を計上しています。なお本予算書では、年会の実地開催や早川基金での海外渡航支援など、例年どお

りの実施形態を想定しています。今後の新型コロナウイルス感染症の状況による実施形態やその費用の変更については、2021年度と同様に予算執行段階で適宜対応していきます。

(文責 庶務理事：町田真美，会計理事：酒向重行)

## 2021 年度日本天文学会天文教育普及賞および日本天文遺産について

2022年1月10日の代議員総会において次のように決定しましたのでご報告いたします。

### ◇天文教育普及賞

- ・山田義弘（やまだよしひろ）  
日本各地の天文協会設立等による天文普及活動への貢献
- ・名古屋市科学館天文指導者クラブ（ALC）  
長年にわたるボランティア組織としての天文教育普及活動への貢献
- ・上越天文教育研究会と上越清里星のふるさと館  
新潟県上越地方における地域の学校教育と緊密に連携した天文教育普及活動

### ◇日本天文遺産

- ・「明治7年金星太陽面通過観測地」  
所有・管理者：長崎市，神戸市，横浜市個人
- ・「小山ひさ子氏の太陽黒点スケッチ群」  
所有・管理者：独立行政法人 国立科学博物館

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2022

パスワード：雑誌コード（5桁の数字）と **vol115**（6文字）の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員：江草芙実（委員長），市川幸平，岩井一正，岩崎一成，小高裕和，小野寺仁人，嘉数次人，勝田哲，

川中宣太，津村耕司，西澤淳，西塚直人，秦和弘，福井暁彦，仏坂健太，前原裕之

令和4年3月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）/ 0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2022 年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）